

別紙 1

1 環境保全活動に関する方針等

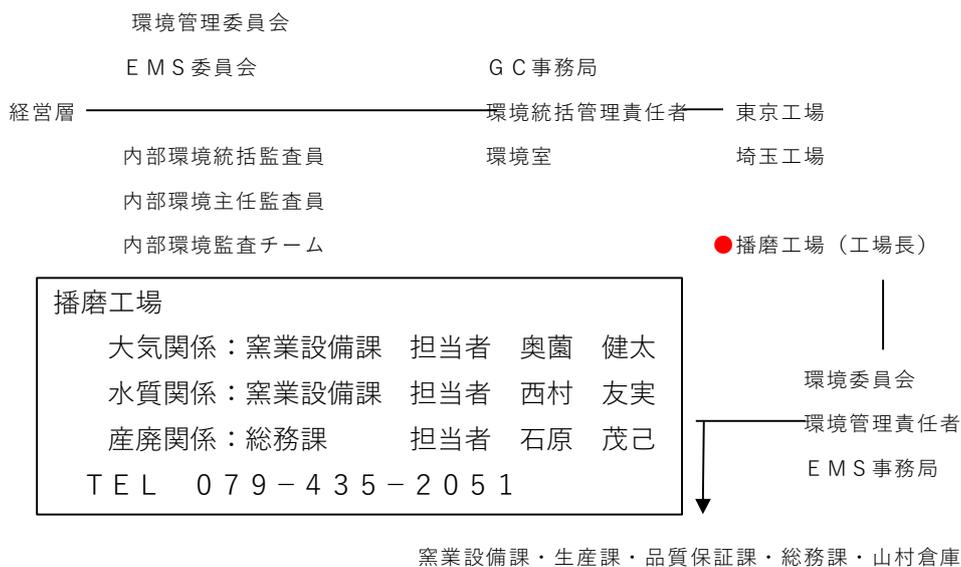
日本山村硝子株式会社環境方針

1914年の創業以来、当社は、“循環型社会の実現に貢献する”という精神を重視しながら、ものづくりを事業の柱として着実に歩み続け、発展することができました。当社では、これまでも、持続可能な社会の実現のため、地域及び環境との調和を重要な経営課題と認識し、関連法規を順守するとともに、省資源、省エネルギー、リサイクル、廃棄物削減に努め、地球環境負荷の低減を進めてまいりました。これからも、すべての事業領域において、社会課題の解決に貢献してまいります。

1. 環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善により、環境に対する汚染を予防します。
2. 事業活動に伴い適用される環境に関する環境関連法規及び社会的約束を順守します。
3. 事業活動が環境に与える影響を調査・評価し、環境目標を定め、継続的な改善を全員で推進します。
4. 「100年先も必要とされる会社」であることを目指し、下記の項目に取り組みます。
 - (1) 省エネルギー・省資源の推進
 - (2) 公害を引き起こす環境負荷（大気汚染、水質汚濁、化学物質リスク）の低減の推進
 - (3) 人為的な要因によって今後深刻な問題となり得る気候変動への対策、GHG排出量低減の推進
 - (4) 持続可能な社会実現への3R（リデュース・リユース・リサイクル）活動の推進
 - (5) 廃棄物の減量化及び再資源化の推進
 - (6) 環境改善に寄与する製品開発の推進
 - (7) 環境に配慮した製造設備、機器の開発
 - (8) 地球環境活動への参加

(目標・計画等の公表の方法についても記載すること)

1-2 環境保全活動に関する組織体制



別紙 2

2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
CO2 排出量原単位を削減し、地球温暖化防止を図る。	<p style="text-align: center;">CO2 排出量原単位</p> <p style="text-align: center;">'24年実績 446.9 kg/t</p> <p style="text-align: center;">※溶融量原単位</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① エネルギー使用量の削減 ② 生産性向上 ③ カレット商とHK 共有データベース活用
省エネルギーを推進し、エネルギー原単位を削減する。	<p style="text-align: center;">総エネルギー原単位</p> <p style="text-align: center;">'24年度実績 216.5 L/t (溶融量原単位)</p> <p style="text-align: center;">'24年度実績 269.8 L/t (製品量原単位)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① コンプレッサの効率的な運転 ② 省エネ活動の継続 ③ 溶解炉原単位の削減 ④ 電力使用量の削減
再資源化率をアップし、資源の有効活用を図る。	<p style="text-align: center;">再資源化率</p> <p style="text-align: center;">'24年度実績 94.2%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 廃プラの再資源化 ② 分別強化
電力使用量の削減により電力原単位を削減する。	<p style="text-align: center;">電力使用量原単位</p> <p style="text-align: center;">'24年上実績 217.2 kwh/t</p> <p style="text-align: center;">'24年下実績 205.2 kwh/t</p> <p style="text-align: center;">※溶融量原単位</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 照明器具（省エネタイプ）更新 ② 低負荷率モーターのインバータ化 ③ コンプレッサのエア漏れ対策 ④ 空調設備（省エネタイプ）更新 ⑤ 高効率モーター更新
上水・工水・井戸水の使用量管理により用水使用量を削減する	<p style="text-align: center;">用水使用量</p> <p style="text-align: center;">'24年実績 254.6 km³/年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 日々の使用量管理による節水 ② 冷却水の循環利用